

## 1. 「認証に失敗しました」の対処方法

### ■ 内容

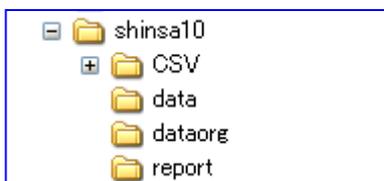
PC で管理者 ID (administrator 等) でインストールした経審博士 10 を一般ユーザーID で稼働しようとするとき「認証に失敗しました」とエラーメッセージが表示されて使用できなくなるケースがあります。

これは、経審博士 10 がインストールの後に稼働した ID のみでしか動かない作りになっているためです。「認証に失敗しました」とメッセージが出るケースは、管理者 ID (管理者権限) でインストールした後に、そのままその権限で稼働テストを実施したために、管理者 ID しか受け付けなくなったためです。

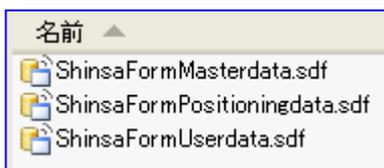
これらの管理者 ID と一般ユーザーID に分けて管理している PC のインストールは下記の手順でインストールを実施してください。

### ■ インストール方法

- 【1】 管理者 ID (管理者権限) で、経審博士 10 (もしくは、経審博士 10+Form) をインストールマニュアルに従ってインストールします。**[この時点で稼働テストは実施しないで下さい。]**
- 【2】 次に、データのセキュリティを解除します。手順は下記の通りです。アドミニストレータ権限のまま実施してください。



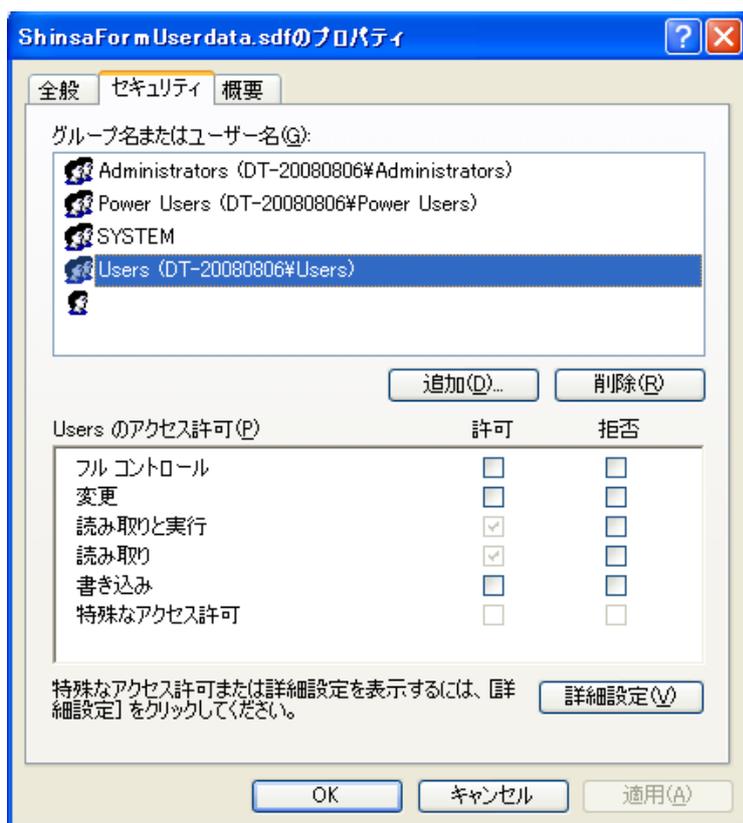
- ① 経審博士 10 は、通常 C:\¥program files¥の下に shinsa10 というフォルダがあります。その下に data というフォルダがありそこを開きます。



- ② data のフォルダの中に、下記の 3 つのファイルがあります。その中の ShinsaFormUserdata.sdf ファイルにマウスを当てて右ボタンをクリックするとメニューが表示されます。



- ③ メニューの一番下のプロパティをクリックします。



- ④ ファイルのプロパティが表示されましたら、セキュリティを指定します。この中に Users の項目があります。この項目を指定すると下の段にアクセス許可が表示されます。
- ⑤ この中の○で囲ってあるフルコントロールの許可のチェックボックスにチェックを入れてください。その後、<OK> ボタンをクリックすることにより、ユーザー権限でも経審博士 10 を使用できるようになります。

- 【3】 上記の設定後に、管理者 ID をログオフして、実際に使用する方の ID（一般ユーザーID 等）でログインします。
- 【4】 一般ユーザーID でコンピュータを立ち上げ、経審博士 10（もしくは、経審博士 10+Form）を稼働させます。

以上の操作で経審博士 10 をインストール権限と異なる権限の ID で稼働させることができます。

## ■ 「認証に失敗しました」が表示されてしまったケースの対処方法

- 【1】 Windows のコントロールパネルの「プログラムの追加と削除」で経審博士 10 をアンインストールします。
- 【2】 インストールしてできたフォルダも念のために削除してください。通常 C:\¥program files¥の下に shinsa10 というフォルダが経審博士 10 のフォルダです。  
(既にデータを入力している方は、shinsa10¥data フォルダの中の ShinsaFormUserdata.sdf を別の領域に退避させておき、経審博士 10 のインストール後に、このファイルを shinsa10¥data フォルダをコピーして、使用者権限のフルコントロールにします。)
- 【3】 その後、上記の方法で再度インストールを実施してください。

以上